



ええとこ 大和郡山

第1弾『3つのお城』

大和郡山でお城といえば『郡山城』。

…だけじゃないんです。大和郡山にはお城が他にもありました。

その中でも代表的な3つ、郡山城・小泉城(片桐城)・筒井城を紹介します。

地元の市民の皆様こそ
知ってもらいたい大和郡山
のええとこを紹介

【郡山城】

筒井順慶の築城(1580年)に始まり、豊臣秀長らの居城となった大和でもっとも大規模な城郭です。近年、追手門などが復元され、平成29年3月には天守台展望施設が完成しました。

現在は『日本さくら名所100選』『続日本100名城』にも選定されています。

【小泉城】

JR大和小泉駅の北西に位置する小泉城は、小泉氏によって築かれ、後に豊臣秀長の家臣である羽田長門守、片桐且元の弟片桐貞隆が城主となっています。現在は、石州流茶道宗家の居宅「高林庵」があり、隅櫓が復興されています。

【筒井城】

筒井城は筒井氏の居城として知られています。現在の筒井町全体に位置する濠に囲まれた平城で、中世の城としては比較的規模の大きなものでした。現在は遺構はほとんどありませんが、ところどころにある蓮池が、濠の名残を残しています。

奈良県のウォーキングポータルサイト『歩く・なら』には『戦国武将の夢の跡・大和郡山の三城めぐり』として3つのお城を巡るウォーキングコースが紹介されています。戦国武将の活躍に思いを馳せながら巡ってみてください。(http://www3.pref.nara.jp/miryoku/aruku/1219.htm)

